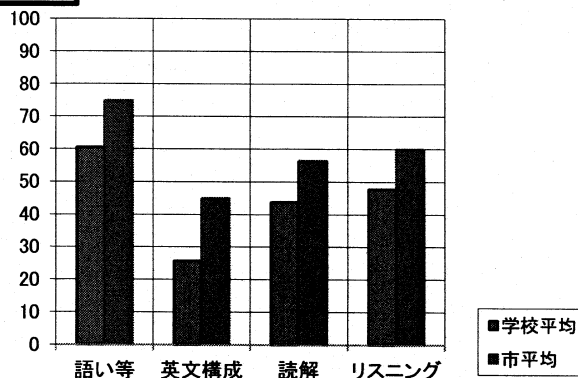


## 「英語能力判定テスト」結果(分野別正答率)の概要と今後の取組

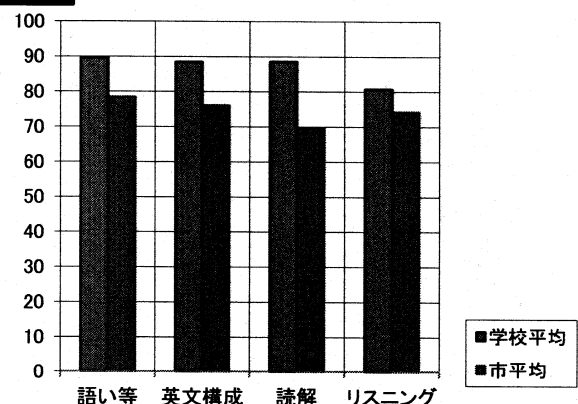
3年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	60.5	25.7	43.7	47.7
市平均	74.8	44.9	56.4	59.9

### 3年



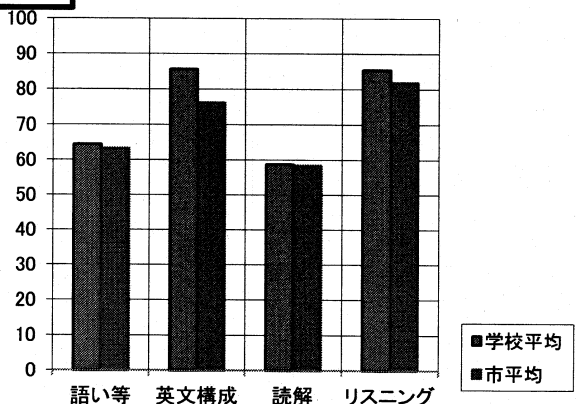
2年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	89.6	88.5	88.6	80.8
市平均	78.5	76.1	69.7	74.2

### 2年



1年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	64.4	85.6	58.8	85.5
市平均	63.3	76.2	58.4	81.8

### 1年



### 結果の概要と結果をふまえた今後の取組

※各学年において実施したテストはそれぞれ種類が異なるため、学年間の正答率を比較することはできません。

#### 3年

英検3～5級レベル:スコア 0～460点

#### 《結果の概要》

各分野とも大阪市の平均正答率には至らなかった。とくに英文構成の分野については、市平均の6割弱であり、改善を図っていく。

#### 《結果をふまえた今後の取組》

基礎的・基本的事項を中心にドリル的な学習方法に取り組み、習得をめざす。

#### 2年

英検4～5級レベル:スコア 0～400点

#### 《結果の概要》

全ての分野で大阪市の平均を上回っていた。問題に未学習の内容も少し含まれていたが、生徒が使える知識を駆使しながら考え、正答を導き出したものと捉えている。

#### 《結果をふまえた今後の取組》

今回の判定テストは全て選択式で、生徒自身も容易であったと感じているようである。引き続き授業では、基礎・基本の徹底に心がけ、問題の形式に左右されない確かな「英語力」をつけさせるため、授業規律を守らせ、集中力をもって取り組ませたい。

#### 1年

英検5級レベル:スコア 0～340点

#### 《結果の概要》

テストの範囲まで学習が進んでいなかった内容も一部あり、「語い力等」の分野でその影響がみられた。「読解」の分野はほぼ平均で、「英文構成」や「リスニング」の分野の正答率は85%を超えている。

#### 《結果をふまえた今後の取組》

語い力をさらに上げるために、既習語も含め単語の学習を日々の授業の中で取り組んでいく必要がある。また、基礎的・基本的な語順、文法事項の復習をしながら、新しい文法事項の定着を図り、「英文構成」の向上につなげていく。  
語い力と英文構成力を上げ、内容を理解する練習を行うことで、「読解」の力をつけていく